

分類 番号	A11	取組 名称	歴史遺産を活用した観光振興を図るための提案・観光による商業振興と町の活性化
研究代表者：	公共政策学部	職・氏名：	講師・杉岡秀紀
研究担当者：	京都府立大学（京都政策研究センター 青山公三、永田恵理子） 研究分担者（公共政策学研究科 M2 磯山直佑、京都府山城振興局 河野沙織氏 ほか）		
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）	京都府大山崎町総務部政策総務課		
【研究活動の要約】			
<p>この研究は、京都府立大学京都政策研究センターの「地域協働オープンワークショップ」として実施されたもので、京都府山城振興局の職員1名（大学ゼミ共同研究事業の一環として参加）、大学院公共政策学研究科の院生（2回目）及び京都政策研究センターの研究員1名が参加して実施された。</p> <p>町の統計データ等の分析や、超が実施したアンケート調査の分析、町へのヒアリング及び3回にわたる現地調査、そして大分県日田市及び長崎県長崎市の各歴史資料館、歴史博物館の先進事例調査などを経て、以下の大きく3つの分野で10の提案を行った。</p> <p>① 大山崎町の歴史資源、既存工場等を活用した諸イベントの提案 ② 大山崎町の歴史・産品を生かした土産物開発 ③ 光を活用したまちづくり</p>			
【研究活動の成果】			
<p>成果として以下の3つの分野にわたり10の提案を行った。</p> <p>① 大山崎町の歴史資源、既存工場等を活用した諸イベントの提案 提案1. 伏見一大山崎間の船を活用した酒・ビール・ウィスキーのはしご酒ツアー 提案2. アサヒビール大山崎山荘美術館の「蘭の館」再現プロジェクト、「蘭イベント」の開催 提案3. 大山崎町歴史資料館の再編・リニューアル 提案4. 大山崎町ヒストリック・トレイルの整備 提案5. 大山崎町歴史発見マップの作製</p> <p>② 大山崎町の歴史・産品を生かした土産物開発：パッケージストーリー 提案6. おにぎり弁当（焼き味噌おにぎり、筍ごはんおにぎり、エゴマの葉のおにぎり） 提案7. えごまの復活（油の神様 離宮八幡宮、エゴマ油のブランド化）</p> <p>③ 光を活用したまちづくり 提案8. 夜間景観形成：天王山イブニングハイク 提案9. アサヒビール大山崎山荘美術館の夜間活用 提案10. 大山崎オーキッドイルミネーションの全町展開とナイトハイキング、夜間イベント開催</p>			
【研究成果の還元】			
<p>① 大山崎町における報告会（2016年6月予定） ② 京都政策研究センターブックレット No.4「地域創生の最前線－地方創生から地域創生へ」に得られた成果の一部を掲載 ③ 報告書はパワーポイントで作成しており、希望者には提供可能</p>			
【お問い合わせ先】			
<p>京都政策研究センター センター長 青山公三 Tel: 075-703-5390 E-mail: k-aoyama@kpu.ac.jp</p>			

参考

大山崎町の豊富な歴史資源(一例)

天王山



天下分け目の戦いで有名な天王山。眺望素晴らしくハイキングコースもある。町は天王山を売り出し観光の目玉と考える。

アサヒビール大山崎山荘美術館



アサヒビールの大山崎山荘の2階テラスからコーヒー、紅茶、あるいは、ビールを飲みながら眺める景色は格別。安藤忠雄氏設計の美術館もある。一時洋ランの日本の栽培拠点であった。

妙喜庵(待庵:国宝)



大山崎町にある国宝茶室「待庵」。歴史資料館に原寸模型有。

離宮八幡宮



離宮八幡宮は、天下分け目の合戦の際に重要な合戦の場であったはずであるが、両軍の取り決めにより戦火を免れた。神社自体は、むかし当地が荏胡麻の主産地だったので、今も全国の油卸問屋が1年に一度集まるところである。